

# 施工説明書

## MFH-100 型



### 大型スライド丁番 ANGUTEC® 掘込用 インセット・かぶせ扉兼用

このたびは、弊社製品をご採用いただきありがとうございます。施工前に本説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。取付後は、本書をいつでも取り出せるよう保管してください。

本書は、MFH-100-50 型（扉厚 30～41 mm 用）と MFH-100-51 型（扉厚 41～51 mm 用）の共通説明書です。

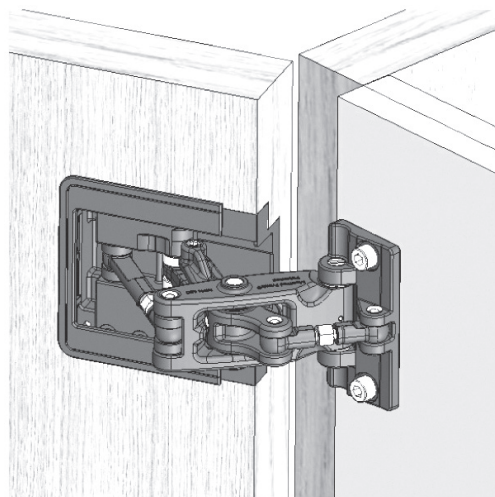
〈 〉で囲われた情報が併記してある場合、〈 〉外の情報は MFH-100-50 型についての〈 〉内のそれは同 51 型についてを表します。MFH-100-51 型は受注対応品です。

## 本製品について

- 大型扉用の多軸丁番です。
- 扉を吊ってからでも、容易に三次元の調整ができます。
- かぶせ仕様、インセット仕様の両方に対応します。

## 取り付けできる扉

扉厚	30～41 mm 〈41～51 mm〉
扉質量	100 kg 以下 / 2 個



上記イラストは、連続扉の半かぶせ仕様です。

## 正しく安全に施工していただくために

- ⚠ 警告・注意    ⚡ 禁止    ⚠ 厳守

### 警告 死亡または重傷を負うおそれがある内容を示します。



- 本製品の施工は、知識、経験がある方が本書に従い正しく行ってください。施工に不備があると、扉の脱落などにより思わぬけがをするおそれがあります。
- 扉の質量、扉の開閉時の衝撃に耐えうる強度の枠を用意してください。また、ねじは必ず指定したものを使用し確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、扉が脱落してけがをするおそれがあります。確実に締めつけてください。取付強度が不足していると、上レールや扉が脱落してけがをするおそれがあります。
- 取付ねじは、指定したトルクで締め付けてください。

### 注意 軽傷を負うことや、物的損害が発生するおそれがある内容を示します。

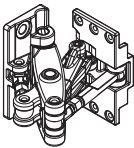
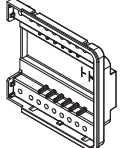
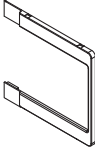


- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ず守ってください。枠、扉のそり、傾きやねじれは、故障などの原因になります。
- 扉が 90° 以上開かないよう、戸当たりまたはワイヤーストッパーなどを使用してください。
- ねじの緩み等異常がないか、定期的に点検し、増し締めをしてください（お使い始めから 1 か月後と 6 ヶ月後、その後は 1 年ごとを目安としてください）。



- 過度の力で扉の開閉を行わないようにしてください。

## 部品一覧

① 丁番本体  1 ケ	② ドアインセット  1 ケ	③ ねじカバー  1 ケ	取付ねじ 十字穴付タッピンねじ 10 ケ
--	---	---	----------------------------

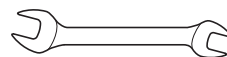
## 使う工具と準備していただくもの



・プラスドライバー2番



・六角レンチ 呼び4  
(枠への取り付けに六角穴付  
ボルトを使う場合 呼び10)



・スパナ 呼び11

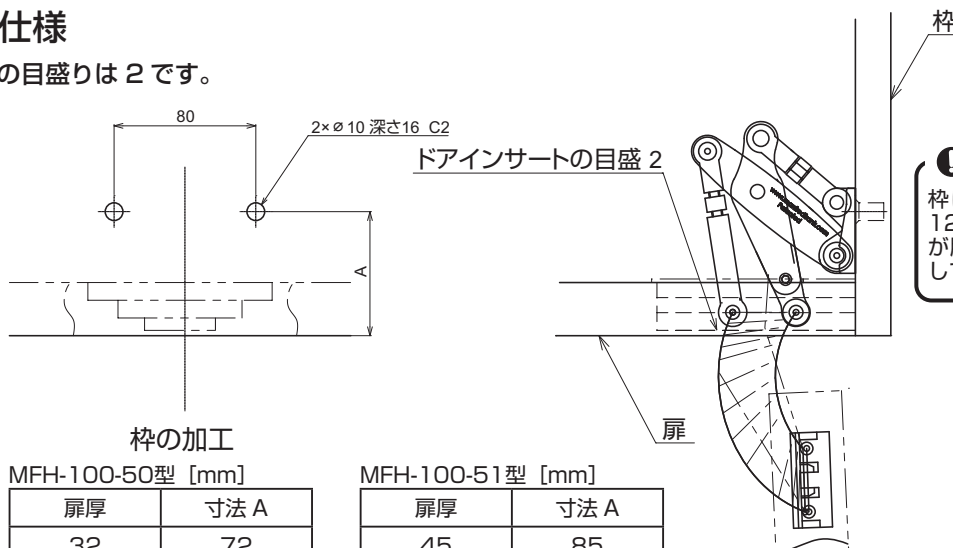
・M8ボルトと平座金

・M8インサートナット

## 寸法図

### インセット仕様

ドアインサートの目盛りは2です。



#### 枠の加工

MFH-100-50型 [mm]

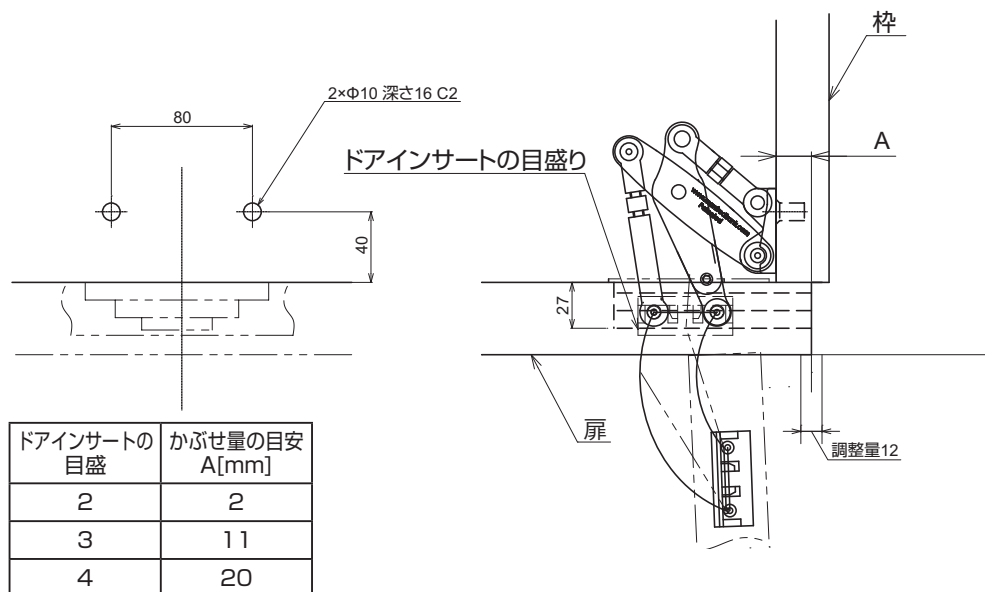
扉厚	寸法 A
32	72
35	75
38	78
T	T+40
Tは30～41です	

MFH-100-51型 [mm]

扉厚	寸法 A
45	85
50	90
51	91
T	T+40
Tは41～51です	

扉と枠のすきまは、0 にしてあります。すきまをつくる時は、丁番の調整機能を使ってください。

### かぶせ仕様

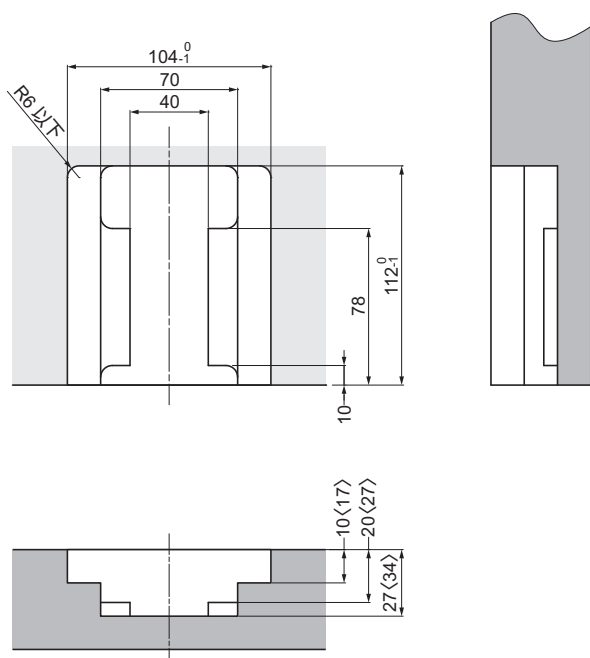


ドアインサートの目盛り	かぶせ量の目安 A[mm]
2	2
3	11
4	20

【1】かぶせ量は、ドアインサートの内側にある目盛で大まかな設定をしてください。

【2】標準的な取付では、目盛によってかぶせ量は上表のようになります。また、調節ねじにより左右に各 6 mm 動かすことができます。この調節量と上表の目安に基づき、どの目盛位置で取り付けるかを決め、調節をしてください。

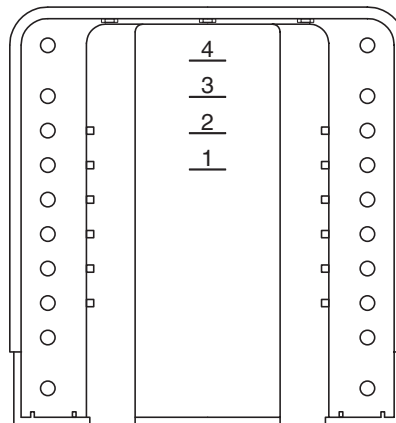
## インセット仕様、かぶせ仕様共通



<>内は受注対応品（扉厚 41 ~ 51mm 用）の場合です。

## ドアインサートの目盛について

「寸法図」に登場する、ドアインサートの目盛とは、下図の 1 ~ 4 の目盛のことです。（1 は使用しません。）



## 施工手順

### ⚠ 注意



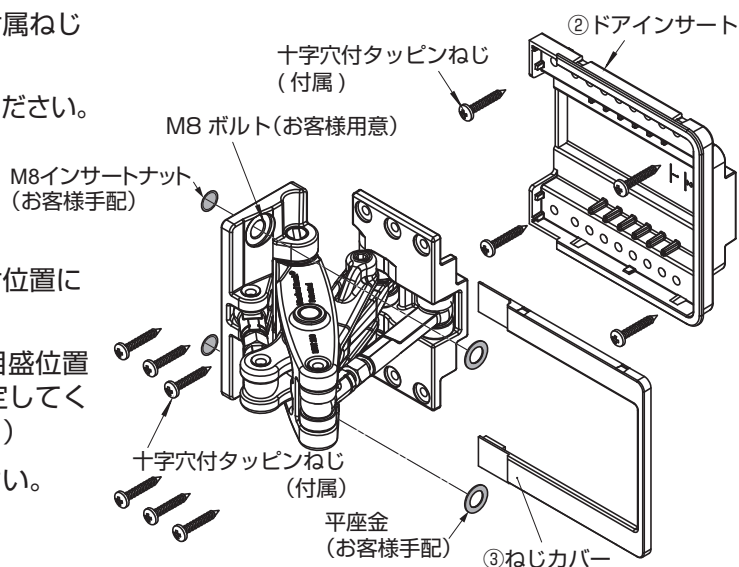
- ・扉を吊り込む高さで保持するため、キャンバーなどのかいものを用意してください。
- ・キャンバーなどのかいものは、両方の丁番に扉が正しく取り付けられたことを確認してから外してください。
- ・丁番を枠に固定するねじは M8 六角ボルトまたは六角穴付ボルトを使い、M8 用の座金を併用してください。（皿ねじは決して使わないでください。）

- 【1】 枠の丁番を取り付ける場所に、M8 インサートナット（お客様手配）を組み込んでください。
- 【2】 扉の欠きこみにドアインサートを差し込み、付属ねじで固定してください。
- 【3】 丁番を枠に当て、M8 ボルトと平座金で固定してください。

### ⚠ 注意

締付トルク：12N・m

- 【4】 扉を、キャンバーなどのかいものを用いて取付位置に保持してください。
- 【5】 丁番の扉取付部を、ドアインサートの所定の目盛位置（「寸法図」参照）に組み込み、付属ねじで固定してください。（6 個の穴すべてを固定してください。）
- 【6】 ねじカバーでドアインサートをふさいでください。
- 【7】 かいものを扉から外してください。



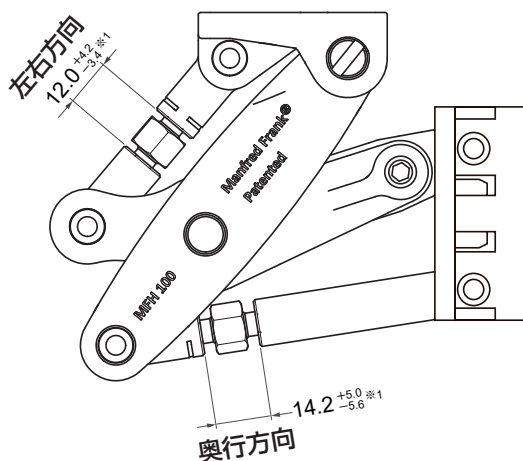
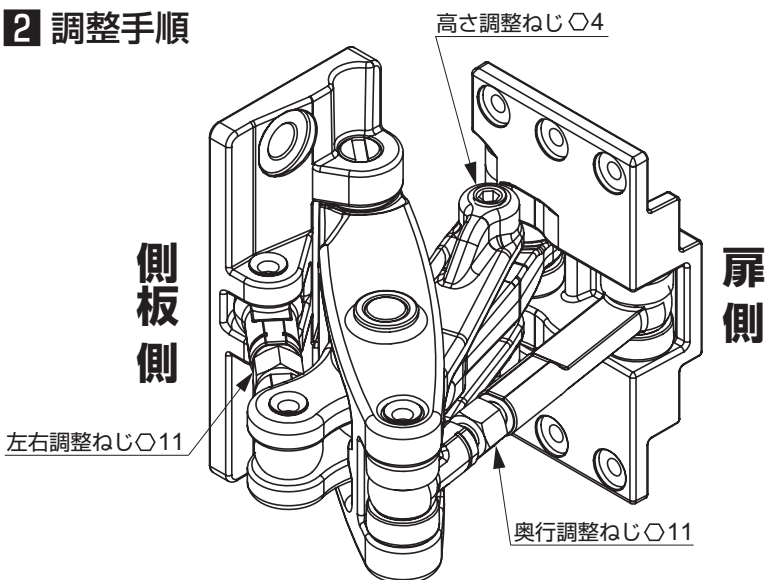
# 扉の位置調整

## 1 調整範囲 [mm]

高さ方向	± 6
左右方向	
奥行き方向	± 3

出荷時は、上表の範囲で調整できるようにしてあります。

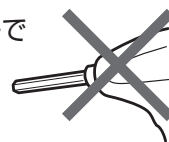
## 2 調整手順



※1 これらは調整部の可動範囲を示します。

### ⚠ 注意

調整ねじを、電動ドライバーで回さないでください。破損の原因になります。

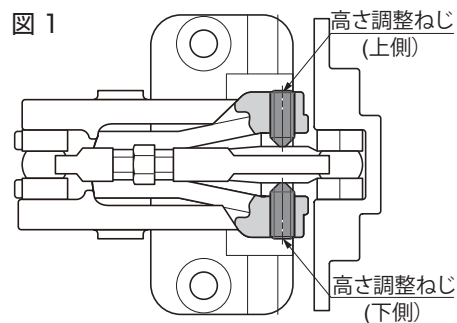


### (1) 高さ調整

高さ調整は、ひとつの丁番だけを一気に調整せず、すべての丁番を少しずつ調整してください。

- (1) 丁番(上下)の上側の高さ調整ねじ(以下同じ)を緩める。
- (2) 丁番(下)の下側のねじで高さを調整する。
- (3) 丁番(上)の下側のねじを(2)の下側のねじの調整幅に合わせて調整する。
- (4) 丁番(上)の上側のねじを軽く締める(1N・m) ※<sup>2</sup>
- (5) 丁番(下)の上側のねじを軽く締める(1N・m) ※<sup>2</sup>

※<sup>2</sup> 強く締め過ぎると丁番が破損します。



### (2) 左右方向、奥行き方向の調整

上図に示したそれぞれの調整ねじを回して調整してください。

### ⚠ 注意

- 扉の高さを調整する時は、上と下の丁番に作用する負荷が均等になる様に調整してください。
- 上側の調整ねじを締め過ぎないようにしてください。締め過ぎると丁番が破損します(締付トルク: 1N・m)。

本製品に関するご質問・ご相談は、  
ご購入先の販売店 へのお問い合わせを推奨しております。

※弊社は代理店販売をメインとしておりますので、販売代理店へ先ずお問い合わせいただく事が、スムーズな対応にもなります。

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP 印の機能&デザイン金物メーカー

TEL:03-3864-1122(代) 平日9:00~17:30  
E-mail: support@sugatsune.co.jp